



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社 増田製粉所
コード番号 2008 URL <http://www.masufun.co.jp/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武政 亮佐

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 岩永 和弘

TEL 078-681-6701

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,894	2.9	517	18.0	530	21.9	259	32.0
23年3月期第3四半期	6,703	△7.5	438	△0.7	434	0.6	196	1.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 298百万円 (35.7%) 23年3月期第3四半期 219百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	28.41	—
23年3月期第3四半期	21.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第3四半期	6,661		3,639		48.0
23年3月期	7,583		3,398		39.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,199百万円 23年3月期 2,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	6.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	2.8	500	8.0	480	5.1	250	5.5	27.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	10,000,000 株	23年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	877,526 株	23年3月期	877,276 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	9,122,699 株	23年3月期3Q	9,123,216 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。また、業績の予想の前提となる仮定等については、(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動の大幅な落ち込みから持ち直し傾向にはあるものの、雇用情勢や個人所得が好転するには至らず、消費者の先行き不安感から節約志向が依然として高く、先行き不透明な情勢が続いております。

このような環境下、当社グループは企業体質強化に努め、合理化、効率化を強力に推進し、当社グループの販売網や製品特性を活かした販路拡大の促進など、業績の向上に努力いたしますとともに、業務提携先である日東富士製粉株式会社とのシナジー効果の創出に注力いたしました。一方で、外国産小麦の政府売渡価格が平成23年4月に平均18%、10月に平均2%引き上げられたことに伴い、業務用小麦粉の販売価格を改定いたしました。

この結果、当第3四半期の売上高は68億9千4百万円（前年同期比1億9千1百万円増、2.9%増）となりました。営業利益は5億1千7百万円（前年同期比7千9百万円増、18.0%増）、経常利益は5億3千万円（前年同期比9千5百万円増、21.9%増）、四半期純利益は2億5千9百万円（前年同期比6千2百万円増、32.0%増）、四半期包括利益は2億9千8百万円（前年同期比7千8百万円増、35.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当社グループは、従来、製粉・食品・畜産の3つを報告セグメントとしておりましたが、平成23年4月1日より、報告セグメントを製粉・食品の2つに変更し、報告セグメントに含まれない「その他」の区分に含まれる事業を製粉セグメントに統合しております。

①製粉

当社グループの主要事業である製粉事業におきましては、拡販に努めた結果、数量ベースで前年を上回りました。その結果、売上高は43億7千3百万円（前年同期比2億2千5百万円増、5.4%増）、営業利益は3億8千7百万円（※前年同期比9千2百万円減、19.3%減）となりました。

※当社グループは、従来、製粉・食品・畜産の3つを報告セグメントとしておりましたが、平成23年4月1日より、報告セグメントを製粉・食品の2つに変更し、報告セグメントに含まれない「その他」の区分に含まれる事業を製粉セグメントに統合しております。また、それと同時に全社費用の配賦方法を見直しております。これにより、従来調整額に含まれていた全社費用の金額である1億5千8百万円が製粉セグメントの営業費用に含まれることとなり、製粉の営業利益が同額減少しております。

②食品

食品事業におきましては、早い梅雨明けとその後の猛暑の影響で手延素麺の販売が伸びたことにより、売上高は25億2千1百万円（前年同期比1億8千9百万円増、8.1%増）、営業利益は1億3千4百万円（前年同期比72万円減、0.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産残高は前連結会計年度末に比べ9億2千2百万円減少し、66億6千1百万円となりました。

流動資産残高は前連結会計年度末に比べ7億4千9百万円減少し、32億7千8百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が9千3百万円、受取手形及び売掛金が1億2千6百万円、原材料及び貯蔵品が1億2千6百万円増加した一方で、商品及び製品が4億3千7百万円減少したことによるものであります。

固定資産残高は前連結会計年度末に比べ1億7千2百万円減少し、33億8千2百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が1億3千1百万円減少したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億6千2百万円減少し、30億2千2百万円となりました。この主な要因は、長短借入金が10億9千4百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、利益剰余金が2億4百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億4千万円増加し、36億3千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,910	721,875
受取手形及び売掛金	1,018,861	1,145,438
商品及び製品	979,004	541,397
原材料及び貯蔵品	658,210	784,387
繰延税金資産	43,836	27,679
その他	705,634	60,893
貸倒引当金	△4,969	△2,711
流動資産合計	4,028,488	3,278,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,453,743	1,403,851
機械装置及び運搬具（純額）	1,151,577	1,029,229
土地	377,665	396,570
建設仮勘定	—	19,226
その他（純額）	39,954	42,569
有形固定資産合計	3,022,940	2,891,447
無形固定資産		
その他	6,990	8,044
無形固定資産合計	6,990	8,044
投資その他の資産		
投資有価証券	330,930	319,545
長期貸付金	6,081	4,738
繰延税金資産	13,814	12,490
その他	184,935	156,013
貸倒引当金	△10,257	△9,434
投資その他の資産合計	525,505	483,353
固定資産合計	3,555,436	3,382,845
資産合計	7,583,925	6,661,806

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	524,474	485,948
短期借入金	2,833,004	1,817,504
未払法人税等	107,362	107,052
役員賞与引当金	8,000	3,750
その他	320,699	321,660
流動負債合計	3,793,540	2,735,915
固定負債		
長期借入金	215,906	136,653
退職給付引当金	62,877	66,466
その他	113,014	83,389
固定負債合計	391,797	286,508
負債合計	4,185,338	3,022,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,638	67,638
利益剰余金	2,571,697	2,776,125
自己株式	△202,486	△202,538
株主資本合計	2,936,848	3,141,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,060	57,948
その他の包括利益累計額合計	59,060	57,948
少数株主持分	402,677	440,208
純資産合計	3,398,586	3,639,382
負債純資産合計	7,583,925	6,661,806

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,703,001	6,894,883
売上原価	5,332,830	5,456,347
売上総利益	1,370,171	1,438,536
販売費及び一般管理費	931,506	920,752
営業利益	438,665	517,784
営業外収益		
受取利息	662	113
受取配当金	7,064	8,989
助成金収入	2,003	6,928
貸倒引当金戻入額	—	3,080
その他	8,001	6,021
営業外収益合計	17,731	25,133
営業外費用		
支払利息	19,407	11,766
その他	2,023	1,110
営業外費用合計	21,430	12,877
経常利益	434,966	530,041
特別利益		
固定資産売却益	—	384
投資有価証券売却益	—	1,058
貸倒引当金戻入額	2,495	—
特別利益合計	2,495	1,442
特別損失		
固定資産除却損	19,746	7,025
投資有価証券売却損	—	246
投資有価証券評価損	18,009	3,225
特別損失合計	37,756	10,496
税金等調整前四半期純利益	399,705	520,987
法人税等	163,811	222,744
少数株主損益調整前四半期純利益	235,894	298,242
少数株主利益	39,592	39,077
四半期純利益	196,301	259,164
少数株主利益	39,592	39,077
少数株主損益調整前四半期純利益	235,894	298,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,156	△158
その他の包括利益合計	△16,156	△158
四半期包括利益	219,738	298,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,494	258,052
少数株主に係る四半期包括利益	39,243	40,031

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	畜産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,147,882	2,331,761	223,358	6,703,001	—	6,703,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	115,174	9,002	—	124,176	△124,176	—
計	4,263,056	2,340,763	223,358	6,827,178	△124,176	6,703,001
セグメント利益又は損失 (△)	480,073	135,439	△30,007	585,504	△146,839	438,665

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
セグメント間取引消去	12,796
全社費用※	△159,636
合計	△146,839

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,373,850	2,521,033	6,894,883	—	6,894,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	113,575	8,992	122,567	△122,567	—
計	4,487,426	2,530,025	7,017,451	△122,567	6,894,883
セグメント利益	387,328	134,715	522,043	△4,258	517,784

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,258千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、製粉・食品・畜産の3つを報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間の期首より、報告セグメントを製粉・食品の2つに変更し、報告セグメントに含まれない「その他」の区分に含まれる事業を製粉セグメントに統合しております。また、それと同時に全社費用の配賦方法を見直しております。

これは、前連結会計年度末に畜産事業を譲渡したことを契機に、業績管理の方法を見直したことに伴い、従来配賦不能営業費用とみなしていた全社費用についてセグメント別の営業利益をより適切に表示するために一定の配賦基準により各セグメントに配賦したものであります。

これにより、従来調整額に含まれていた全社費用の金額である158,209千円が製粉セグメントの営業費用に含まれることとなり、製粉のセグメント利益が同額減少しております。なお、上記「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」における前第3四半期連結累計期間の情報については、変更後の報告セグメント及び、変更前の全社費用の配賦方法により作成しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。